



建築物総合環境計画概要書 新築

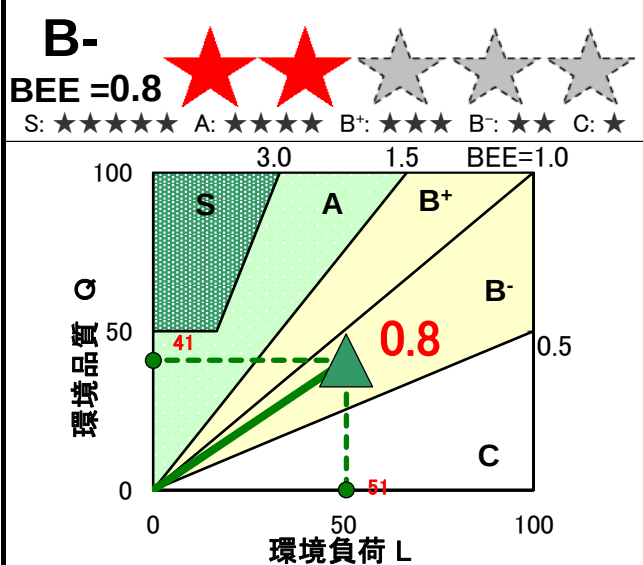
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

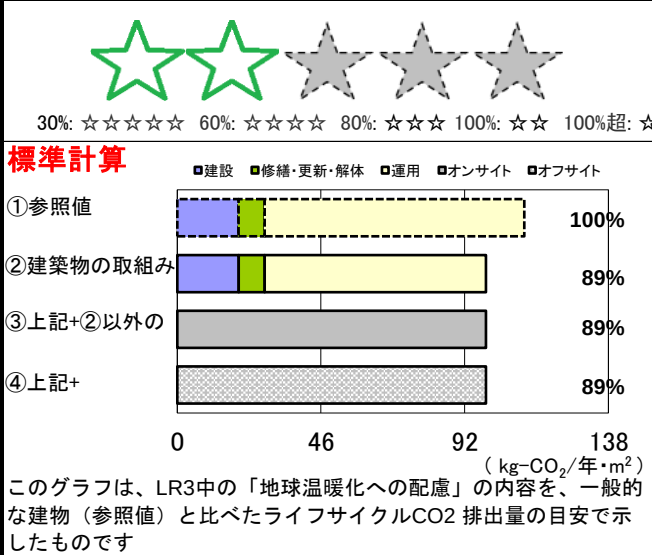
建物名称	(仮称)都島北通2丁目新築工事		
建設地	都島区都島北通2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	832.28	m ²	
建築面積	478.63	m ²	
延床面積	3,267.25	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上8階
完了年(予定)	2022年1月		

1-2 外観

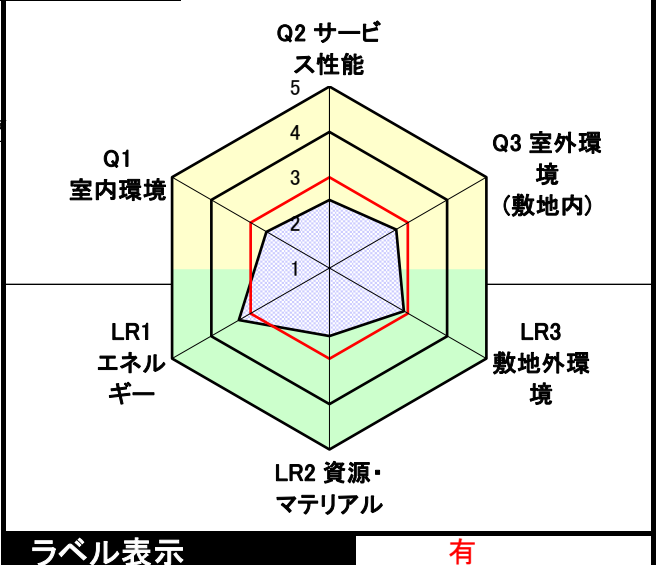
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



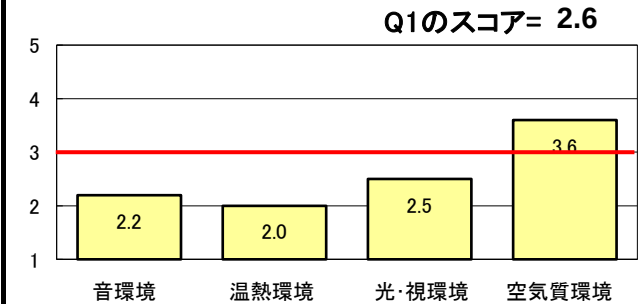
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



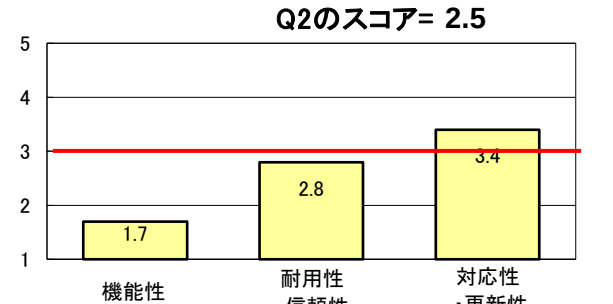
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

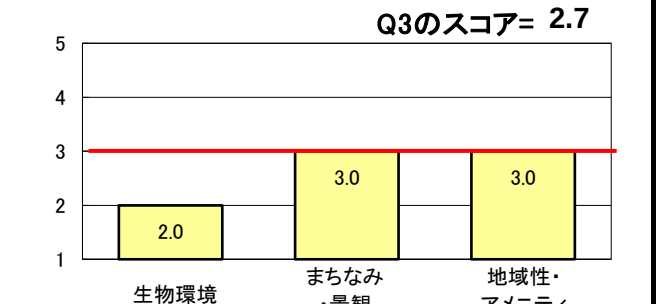
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

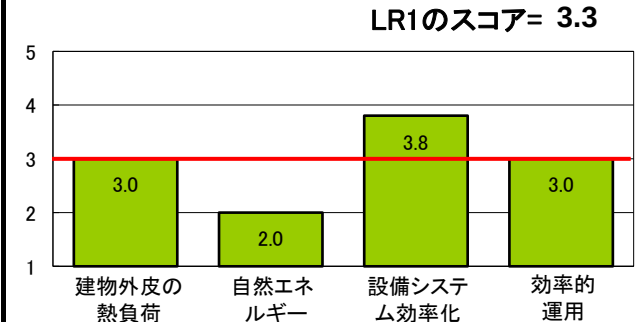


Q3 室外環境(敷地内)

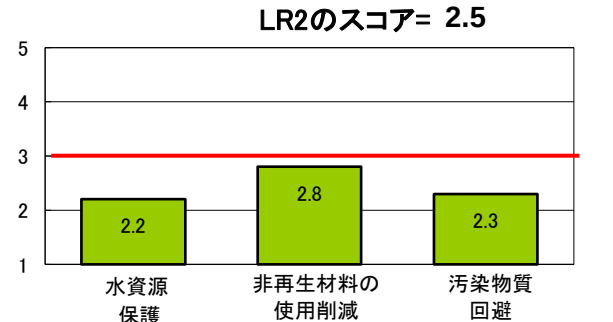


LR 環境負荷低減性

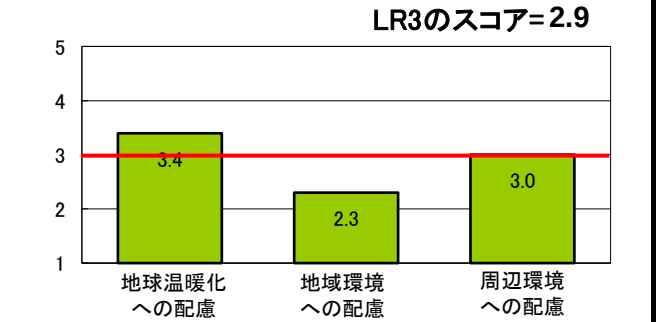
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

3方が道路に面する敷地において、いずれに対しても美観に配慮したファサードとし、3面ともに街並みに良い影響を与えるよう配慮している。

その他

特になし。

Q1 室内環境

2面採光・2面通風ができる住戸を極力多く確保している。

Q2 サービス性能

MBを同位置として、設備縦配管の経路を明快にしている。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地の角を緑化するようにして、各方位から効果的に植栽が見えるように計画している。

LR1 エネルギー

専有部にペアガラスのアルミサッシを採用し、省エネに努めている。
照明器具はLEDとし、照明エネルギーの削減に努めている。

LR2 資源・マテリアル

GL工法、軽鉄下地による仕上げを多く使用したほか、打ち込み配管等を減らし、分別しやすい構造にしている。

LR3 敷地外環境

廃棄物保管庫を適切に計画し、清潔な環境づくりに努めている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.8
配慮事項	特になし。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.92	0.92
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	■ 屋根部 地上高さ (25) m □ 地上部 (□ 空地部分 □ その他) □ 壁面 □ その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	■ なし □ あり 方位 () 高さ (約) m 水平距離 (約) m 方位 () 高さ (約) m 水平距離 (約) m 方位 () 高さ (約) m 水平距離 (約) m 方位 () 高さ (約) m 水平距離 (約) m 方位 () 高さ (約) m 水平距離 (約) m
ウ 日照の確保 (冬至)	■ 十分 □ 不十分
③ 日照条件に適合する場所の検討	
ア 設置可能面積等	(141.3) m ² 方位 (真南) 設置角度 (30) 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	(56.5) m ²
ウ 設置可能容量	(8.5) kw
エ 利用設備に対する荷重対策	□ あり ■ なし
オ 設置に備えた対応	■ なし □ あり (例：設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 □ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ■ 導入しない	
導入を見送る理由（複数選択可） □ 日照が確保できない ■ 躯体が荷重に対応できていない □ 敷地内に設置する場所を確保できない ■ 費用負担が大きい □ 本計画では見送るが、将来対応可能とする □ その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 太陽光パネル面積	() m ²
イ 発電容量	() kW
備考	
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。	

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1

設備導入の検討

①

周辺環境の把握

②

日照条件の検討

ア

検討対象とする場所

■

屋根部

地上高さ（

25

）m

□

地上部

（

□

空地部分

□

その他）

□

壁面

□

その他

（）

イ

アの周囲における日射遮蔽物

■

なし

□

あり

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

ウ

日照の確保（冬至）

■

十分

□

不十分

③

熱需要の条件等の検討

ア

建築物の用途

共同住宅

イ

熱需要対象用途

■

冷房

■

暖房

■

給湯

□

その他

（）

ウ

設置可能面積

（

141.3

）㎡

エ

概算年間熱利用量

（

307,610

）MJ/年

オ

利用設備に対する荷重対策

□

あり

■

なし

カ

設置に備えた対応

■

なし

□

あり

（例：設備用基礎の設置）

（）

④

導入判断

検討結果

□

導入する

→具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を2に記入

■

導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

□

日照が確保できない

□

年間を通じて安定した熱需要がない

■

躯体が荷重に対応できていない

□

敷地内に設置する場所を確保できない

■

費用負担が大きい

□

本計画では見送るが、将来対応可能とする

□

その他

（）

2

導入する設備の概要

ア

集熱パネル面積

（）㎡

イ

概算年間熱利用量

（）MJ/年

ウ

熱需要対象用途

□

冷房

□

暖房

□

給湯

□

その他

（）

備考